

ノカイドウ

日本語でノカイドウとして知られる Makino Crab Apple は、えびの原高原の川沿いにのみ生育する、非常に珍しいバラ科の木です。

ノカイドウは 4 メートルほどの高さに成長し、5 月上旬に赤い蕾から小さな薄桃色の花を咲かせます。果実の大きさは約 7 ミリメートルで、秋に深い赤色に熟します。

1923 年、ノカイドウの自生地は国の天然記念物に指定されました。鹿の食害を防ぐ保護柵の設置など、保護のための施策がとられていますが、ノカイドウの木の数 は年々着実に減少しています。2001 年には、ノカイドウの台木はわずか 300 株を残すのみになりました。

ノカイドウの種が絶滅することを懸念して、環境省、九州森林管理局、宮崎・鹿児島県は調査と試験を実施するとともに、衰弱した樹木の修復活動を支援しています。

シカに餌を与えないでください

シカがノカイドウの自生地に侵入する原因となるので、地元のシカに餌を与えないで下さい。えびの原高原の美しい自然を保護し、植生の損傷を防ぐために、ご協力をお願いします。